



平成 28 年 4 月 28 日

各 位

大阪市中央区淡路町三丁目 6 番 3 号
ステラケミファ株式会社
代表取締役 深田 純子

(コード番号 4109 東1)

(問合せ先) 取締役執行役員総務兼経理部長 宮下 雅之

TEL 06-4707-1512

業績予想値と決算値との差異および
デリバティブ評価損の計上に関するお知らせ

平成 28 年 2 月 5 日に公表しました平成 28 年 3 月期(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の業績予想と比較して、本日公表の決算において下記のとおり差異が生じましたのでお知らせします。

1. 平成 28 年 3 月期 通期連結業績予想数値と決算値との差異

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	27,455	1,048	1,148	1,248	104 円 00 銭
実績値 (B)	27,509	1,388	1,044	1,323	110 円 33 銭
増 減 額 (B-A)	54	340	△104	75	—
増 減 率(%)	0.2	32.5	△9.1	6.1	—
(ご参考) 前期実績	28,341	93	1,026	1,322	110 円 24 銭

2. 差異の理由およびデリバティブ評価損の内容

為替が想定を上回る円高水準となった影響で、主原料の無水フッ酸価格が、低い水準で推移した影響や、全社的に推進している経費削減への取組みも想定を上回る効果が表れ、営業利益が通期連結業績予想値を上回る結果となりました。一方、円高に進んだ影響で、主原料の購入に充てる外貨を調達する目的として取り組んでいるデリバティブ取引の評価損 768 百万円(当第4四半期連結会計期間 457 百万円)を計上した結果、デリバティブ評価損の計上額が想定を上回った為、経常利益は前回予想に対し下振れました。

以 上